

HigoBankGroup

肥銀カード株式会社
DX計画

２０２６年10月30日

目次

1．代表者メッセージ
2．経営ビジョンとDXの方向性
3．ＤＸ戦略の取り組み
4．ＤＸに向けた環境整備
　（１）組織
　（２）システムインフラ
　（３）人材開発
5．ＫＰＩ

1．　代表者メッセージ

肥銀カードは、クレジットカード事業（会員・加盟店募集、決済ソリューション）およびローン保証を通じて、地域の暮らしと事業を支えてまいりました。いま、データ活用やデジタル技術の進化により、決済を取り巻く社会・競争環境は大きく変化しています。キャッシュレスの急速な普及、スマートフォンを起点とした新しい顧客体験、デジタルを活用した金融サービスが加速するなど、社会の決済インフラは大きな変革期にあります。一方で、サイバー攻撃や不正利用の高度化、情報管理の強化と安心安全で利用するためのリスク対応力も求められています。

当社は、Mission「キャッシュレスで地域に潤いを～地域を支え未来を創る～」、Vision「地域決済リーディング企業として『くまもと』の未来を創る」の実現に向け、DXを経営の中核として推進します。具体的には、①顧客接点価値の向上として、Web・各種手続き導線の改善等により「わかりやすく、使いやすい」体験を強化します。②業務生産性と品質の革新として、入会から退会までの業務プロセスのデータ化・ペーパレス、営業活動のデジタル化、生成AIの活用等により、迅速で正確な業務運営を実現します。③データ活用と一気通貫運営として、顧客体験をデータで捉えて改善につなげるデータドリブン経営を推進するとともに、保証審査・債権管理領域のデータ化・自動化を進め、経営判断と現場運用をつなぐ強い業務基盤を構築してまいります。

DXの目的は、単なるIT化ではありません。地域のお客さまには「わかりやすく、安心で、使いやすい」決済体験を、加盟店さまには「導入しやすく、売上につながる」ソリューションを、そして地域経済には「挑戦を後押しする金融サービス」を提供し続けることです。肥銀カードは、変化の時代だからこそ“安心・信頼”を基盤に、デジタルの力で地域の未来をともに創ってまいります。

2026年10月30日

肥銀カード株式会社　　代表取締役社長
池田 誠

2．　経営ビジョンとDXの方向性

HigoBankGroup

経営ビジョン体現のため、デジタル推進企業実現に向けた変革を実行します。

● DX Mission

キャッシュレスで地域に潤いを

～地域を支え未来を創る～

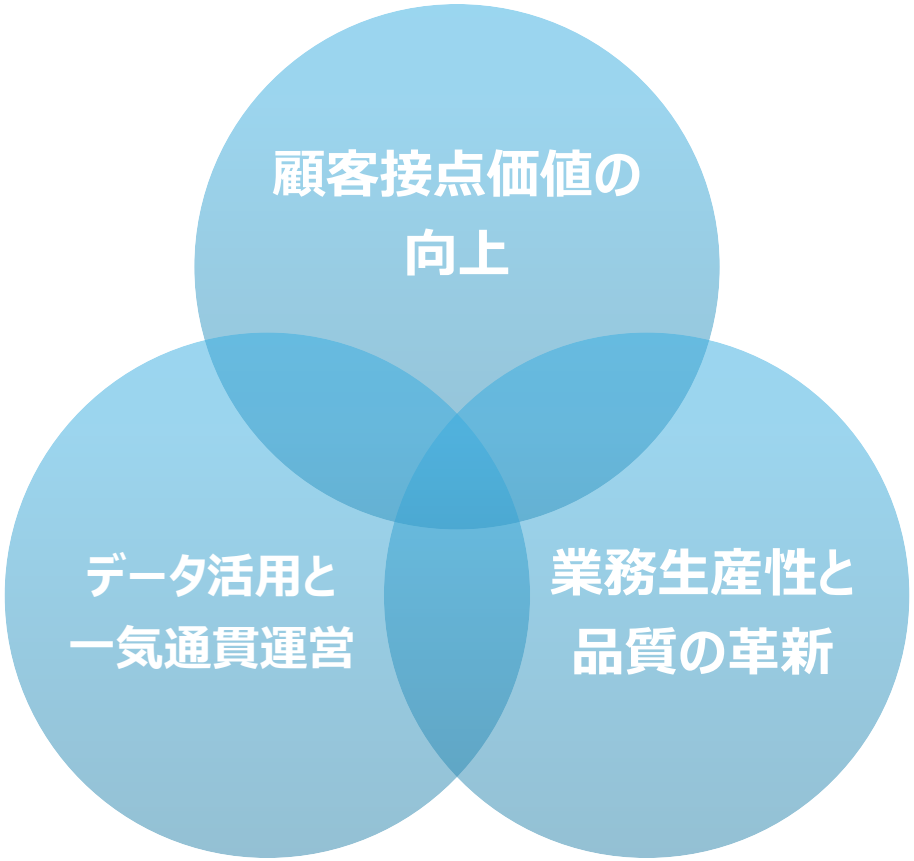
×

● DX Vision

地域決済リーディング企業として

「くまもと」の未来を創る

● DXの方向性



３．　DX戦略の取り組み

（１）顧客接点の価値の向上

利便性・応対品質の向上



- ①　ホームページの機能充実
- ②　カード変更業務のデータ転送化
- ③　顧客情報の電子管理
- ④　SMSを活用した顧客対応

お客さま・加盟店さまの「手続きのしやすさ」と「対応スピード」を高める施策を実行します。

①ホームページ上に諸変更届や退会届等、営業時間外にもお客様が届出をできる導線を整備します。

②現在、紙で実施している業務のデータ転送化を図ります。

③お客様の情報をデータ化し、システムで一元管理することにより、応対品質の向上に努めます。

④従来の郵便物でのやり取りからメール・SMS通知などを活用した顧客対応を図ります。

（２）業務生産性と品質の革新

業務効率化



① 規定・契約書の電子一元管理

② 各種申請書類のデジタル化

③ 生成AIの業務活用

④ 渉外活動用の端末導入

端末・システムの導入により、紙・手作業・属人化を削減し、業務効率化を実現します。

①紙で保管している規定・契約書を電子化し、一元管理します。

②各種申請・届出書類をデジタル化します。

③報告書・提案書・議事録の作成ほか業務上で生成AIを活用します。

④顧客提案、申込・受付などの渉外活動のデジタル化。

（３）データ活用と一気通貫運営

判断の高度化･リスク低減



- ①　書類の電子化
- ②　営業管理システムの導入
- ③　審査業務のデジタル化
- ④　顧客判別機能実装

紙で蓄積されたデータを電子化し、各種判断に関する時間短縮を実現します。電子化することにより、これまで以上にデータドリブンな経営判断も実施します。

①紙で保管しているお客様情報を電子化し、一元管理します。

②営業情報を一元管理し、エクセルによる管理からの脱却を図ります。

③審査業務をAIに学習させ、業務効率化を目指します。

④入金済み顧客を自動で特定し、端末へ自動充当する機能を実装します。

（１）組織

●DX改革委員会の設置

DX改革委員会

☞体制
・委員長：カード業務部副部長
・構成員：各部1名・委員長が指名する者

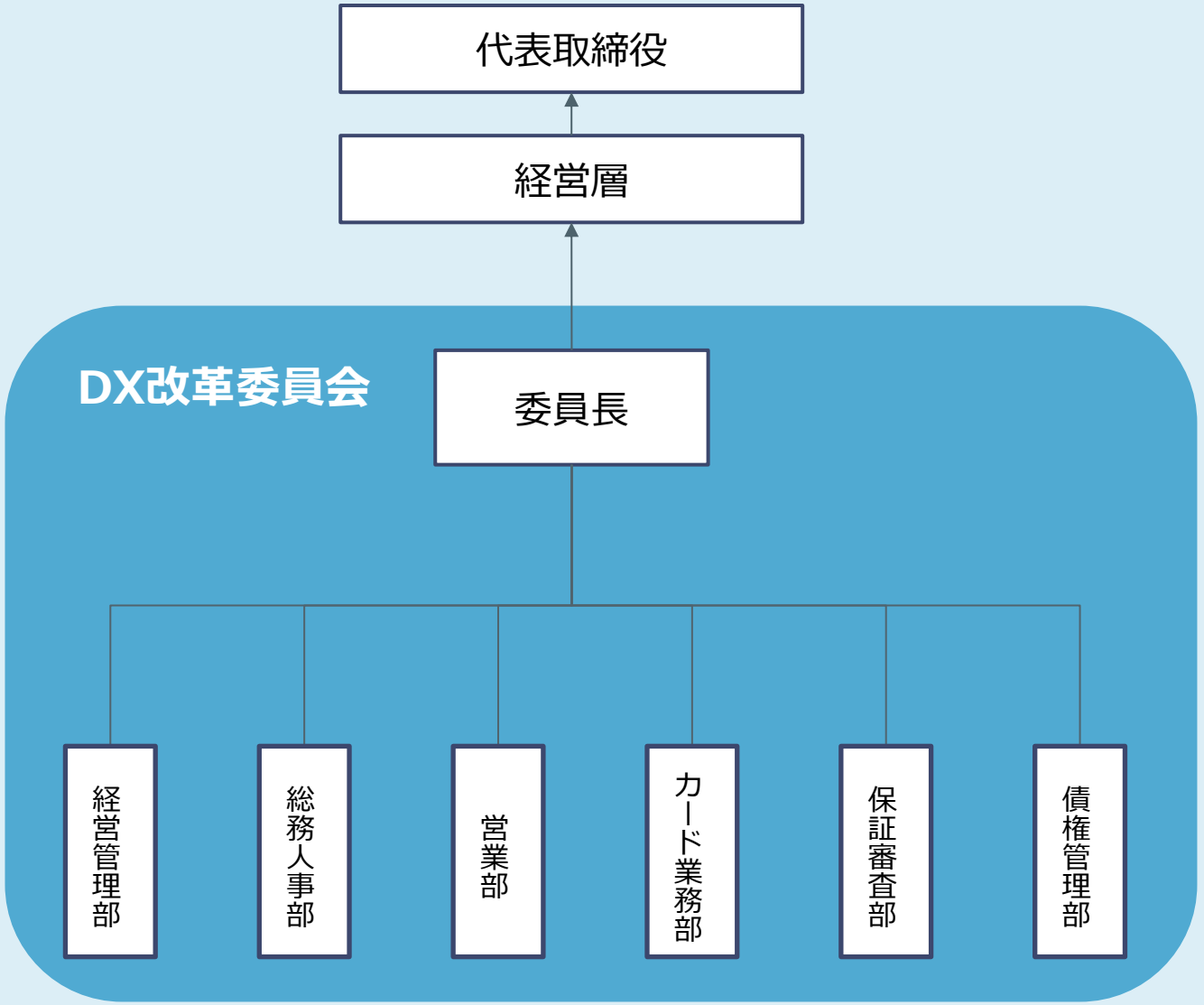
☞方針
・デジタル技術に関連する調査・企画・提案等について、DX計画の実現に向けた施策と進捗を確認

☞意思決定方法
・委員会からDXに関する施策、進捗を経営層へ提案、報告し、意見交換を行ったうえで、代表取締役が最終の意思決定を行う

☞ 開催
・原則、毎月１回

【グループ会社】
九州デジタル
ソリューションズ

ITベンダー等
外部組織



（２）システムインフラ

●システム導入

渉外用タブレット端末

お客様向けの提案活動やオンライン申込を実現し、利便性の向上を行います。

顧客情報管理システム

お客様のご契約内容や交渉経緯など案件管理を行うシステムを導入します。

紙帳票のデジタル化

紙運用となっている帳票を電子化します。

生成AI活用

企画書および提案資料作成への生成AI活用に向けてセキュリティを担保した利用環境を整備します。

●セキュリティ対策

端末のセキュリティやネットワーク監視の強化

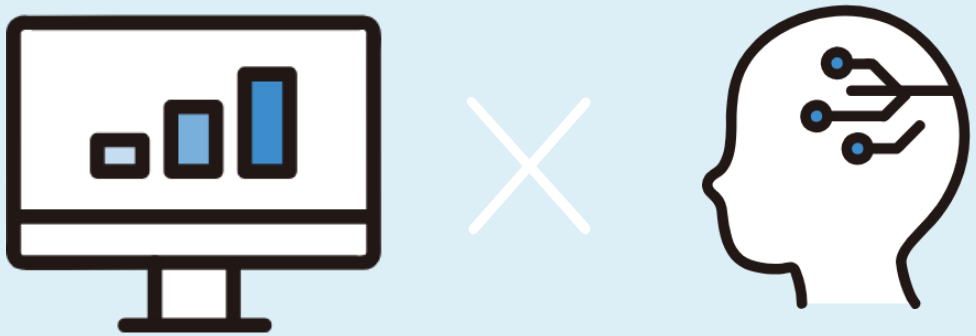
サイバーセキュリティ管理体制の構築を図ります。

顧客データの保護とセキュリティ確保

PCIDSS等、関係法令を準拠し、個人情報を保護します。

（３）人材開発

IT関連資格の取得



●ＩＴﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ
●ＤＸ検定
●ＡＩ各種検定
●生成AIパスポート
●情報セキュリティマネジメント試験

資格取得学習による従業員のスキル向上を行います。

セキュリティ知識の向上



●e-ラーニング研修実施
●DX人材の育成

DX化に向けて、情報セキュリティに関する学習を行い、従業員の知識向上を図ります。

DX化を進めるため以下のKPIを達成します



IT関連資格取得者

+30人



ペーパーレス化に伴い紙使用量

－15%



DX推進指標

+0.5pt



渉外用、リモート端末導入

+10台



ホームページ内コンテンツ更新回数

年5回


HigoBankGroup
肥銀カード